

## 令和5年度 北海道行動援護従業者養成研修講師一覧

講師名	所属	専門分野	略歴・業績等
箭内 宏行	株式会社ソーシャルサポートダイアナ 副施設長	行動援護の実践	入所施設にて約20年間、強度行動障がいのある方への支援に携わった後、重度の障がい者から高齢者まで地域の中で幅広い支援を展開している現法人の運営役員に就き、事業の拡大に取り組む。そのため、経営や制度への理解が深い。その一方で日々行動援護ヘルパーとして実際の支援にも携わっている。「さっぽろ行動援護ネットワーク」顧問を務める。
平木 恵	株式会社ソーシャルサポートダイアナ グループホームサービス管理責任者	行動援護の実践	12年間入所施設に勤務し、そのうち約8年間、強度行動障がいのある方への支援に携わる。その後、重度の障がい者から高齢者まで幅広い支援を展開している現法人に勤務し、主に行動援護ヘルパーとして様々なケースに関わる。家庭や他事業所等と連携や支援の実績が豊富である。
白川 栄義	あむ 居宅介護等事業ばでい 管理者	行動援護の実践	小規模共同作業所職員として約4年間、地域の障がい者支援に携わり、その後重度の障がい者のヘルパーとして訪問、外出支援を約7年行う。生活介護事業のサービス管理の経験も積み、現在は行動援護等の管理者とヘルパー業務を兼任している。行動障がいのある自閉症者から重症心身障がい者の支援まで経験の幅は広い。「さっぽろ行動援護ネットワーク」代表も務める。
山口 ゆか	ひなた 代表理事	行動援護の実践	福祉系の大学を卒業したあと、B型の施設で生活指導員として6年働く。その後ガイヘルの仕事に出会い、衝撃を受ける。『利用者さんも楽しい！働くスタッフも楽しい！』を第一に17年間ガイヘルを日々楽しんでいる。ヘルパーの養成学校でも講師として勤務。「さっぽろ行動援護ネットワーク」副代表も務める。
神山 淳也	ひなた ケアチーフ	行動援護の実践	学生時代からボランティア活動を通じ発達障がい児の支援に関わる。その後、現法人に入職し、現在までヘルパーとして、主に強度行動障がいのある方へのサポートを行っている。
木村 亮介	ひなた 支援員	行動援護の実践	保育の専門学校を卒業して、未就学児から成人の利用者さんが通うデイサービスで4年勤務。転職後ひなたにて、2年間ヘルパーとして「明るく・元気に」をモットーに外出支援を日々楽しんでいる。障害者スポーツ指導員として、バスケットボールやサッカーの指導員としても活躍。
小池 亜希	草の実会 草の実スイッチ 管理者	行動援護の実践	通勤寮やグループホームで8年間、知的障がい者や精神障がいの方の生活と就労の支援に携わる。現法人ではグループホームのサービス管理責任者、地域活動支援センター管理者、相談室の相談支援専門員を経て、行動援護、移動支援のヘルパー事業所にて現在管理者、サービス提供責任者として日々楽しくをモットーに利用者さんの生活支援に携わる。
北原 裕之	北海道ケア・サポート 取締役 地域支援部門 統括	自閉症支援	前職では、高等養護学校の寄宿舎指導員を行い、高校生の身辺や生活スキル向上の支援を行う。現法人では、生活介護事業所の管理者を務め、ショートステイ、グループホームの立ち上げに携わる。現在は、成人部門の統括の役割も担い、行動障がいのある発達障がい・知的障がい・重症心身障がいの方の支援、地域部門の調整業務やスタッフの育成に務めている。
長谷川 秀和	シンシアサポート 管理者	行動援護の実践	前職では小規模作業所、通所授産施設、就労支援継続B型で障がいのある方の就労支援を職業指導員として支援。その後、現法人では居宅支援事業所のサービス提供責任者、放課後等デイサービスの管理者兼児発管として携わる。6年前から統括（児童分野と行動援護及び移動支援等）の役割も担いつつ、行動障がいのある発達障がい・知的障がい・重症心身障がいの方の支援実践を続けている。
加藤 潔	自閉症者地域生活支援センターなないろ 所長	自閉症支援	強度行動障がいに関する直接支援やコンサルテーションの経験も豊富で、北海道強度行動障がい支援者養成研修のプログラム検討やその企画実施に携わってきた。また、強度行動障がい支援者養成研修カリキュラムの改変における内容検討にもかかわらず、指導者研修の講師も務めている。
坂井 翔一	札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる 副所長	自閉症支援	大学でのボランティア活動で児童から高齢者に渡る幅広い支援に関わり、ヘルパーや児童デイ支援員として経験を重ね、現在は自閉症など発達障がい児者への相談や支援機関との連携、スーパーバイザー、コラボレーターなど地域の多様な相談に対応する。研修の企画運営、講師としても活躍中。
塚本 由希乃	札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる	自閉症支援	大学卒業後は、自閉症療育を行う社会福祉法人にて、更生施設、ショートステイ事業に従事する。その後発達障がい者の発達心理を学ぶため大学院臨床心理学講座へ入学、大学院在学中に児童デイでのパート勤務を経て、修了後は、就労移行支援事業所、就業・生活支援センターで就労支援に携わる。現在は、現場での経験や大学院での学びをもとに、発達障がい者支援センターにて自閉症支援コンサルテーションを行っている。
小野 美佳	札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる 発達障害者地域支援マネジャー	自閉症支援	児童発達支援センター、放課後等デイサービスの業務を通じて行動障がいのある児童の直接支援、保護者支援に携わる。また、障がい児地域支援マネージャー、発達障害者地域支援マネージャーの業務にて地域の療育機関や事業所へ訪問するなど間接支援も経験している。
北本 麻由	札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる 発達障害者地域支援マネジャー	自閉症支援	大学、大学院では心理について学び、ボランティア活動等では発達障がい児の支援に携わる。所属法人では、生活支援員として強度行動障がいのある方への支援に4年間取り組み、現在は地域支援マネジャーとして学びを深めている。
石田 昭人	札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる 発達障害者地域支援マネジャー	行動援護の実践	行動援護従業者として長年の現場経験と行動援護従業者養成研修講師の実績がある。他、発達障がい者支援センターや生活介護事業所等にて、主に自閉症の方の地域生活支援に関わる、就労、療育、相談支援等の現場経験がある。現在発達障害者地域支援マネジャーとして、行動援護事業所等を含めた機関支援を困難ケース中心に担当している。札幌市発達障がい者支援地域協議会委員も務めている。
杉本 友里香	パーソナルサポートセンターぱけっと チーフ	行動援護の実践	学生時代に児童デイでのボランティアや現在所属法人にて4年間児童デイに勤め、幼児期～学齢期のご利用者さんの支援に関わる。現在は行動援護従業者として、主に強度行動障がいのある方へ、より暮らしに近い側面からサポートを行っている。
中幡 恵太	パーソナルサポートセンターぱけっと 主任	行動援護の実践	学生時代から居宅介護事業所でヘルパーとして活動、その他特別支援学校でのボランティア活動などで発達障がい児の支援に関わっている。現所属法人では、3年間グループホームでの支援を経験し、現在は行動援護ヘルパーとして主に強度行動障がいのある方へのサポートを行っている。「さっぽろ行動援護ネットワーク」事務局を務める。